

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和3年度 1月号

それでもできることを！3学期の始まり

12月の終業式では、およそ2年ぶりに全員で校歌を歌うことができました。(マスク着用です。)でも、ほっとしたのもわずかの間。オミクロン株による新型コロナウイルス感染の急拡大。

3学期始業式は、オンラインで行いました。校歌を歌う代わりに、スライドを見ながら演奏を聴きあいました。子どもたちには、御前崎小学校校歌の歴史や、格調高い歌詞の意味を伝えましたが、校歌を通して、この歴史ある御前崎小学校の一員であることを誇りに思ってもらいたい、と願っています。

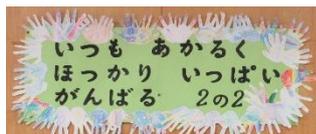
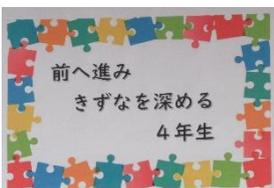
御前崎小の子、〇〇のお兄ちゃん、〇〇家の子、〇〇地区の子、ほかほか班〇班の子、〇年〇組の子など、子どもたちにはいくつもの居場所があります。中には、自分で選べないこともあるけれど、それぞれの居場所一つ一つがその子の人格形成に影響を及ぼしています。



校長室の校歌 額

子どもたちには、それぞれの学級目標(左写真)を紹介しました。どれも、子どもたちと担任の願いが詰まった、素晴らしい目標です。3月には笑顔で「このクラスでよかった」と終われるように、ありがとういっぱい3学期にしよう、と伝えました。

制限は続きますが、学校では、感染予防を継続しつつ、できる形を探りながら、子どもたちが充実した3学期を過ごせるようにしていきたいと考えています。



御前崎小学校にはステキがあふれています

～北には仰ぐ富士の峰～これは校歌1番冒頭の歌詞です。

校舎からくっきりとした富士山が見える季節になりました。強い風も御前崎の風物詩です。そ

んな中でも、元気に外に飛び出していく子どもたち。5年生は冷たい仕事も厭わず、カメのお世話を続けてくれています。昼休みには、一輪車名人さんや学習ボランティアさんも来校してくださり、多くの目で子どもたちを温かく見守ってくれています。パソコン室前の3年生の上靴はこんなにきれいに整頓されていました。

青空と海と灯台、そして霊峰富士に守られた御前崎小学校。ここで育つ子どもたちが優しい子にならないわけがありません。御前崎小学校にはステキがあふれています。



(先日の強風で、空の給食食器が外に飛んでいき、慌てて追いかけた校長 仁平美和子)

